

□主な内容

【EST推進地域・団体登録制度の開始】

EST普及推進委員会は、「ESTを目指して、環境改善目標を伴った交通環境対策を推進すること」を誓う地方自治体を登録する制度を開始しました。

【ドイツ環境共生都市フライブルクのまちづくり等の講演】

ドイツ・フライブルク市の駐輪場を活用した複合型交通サービスとフライブルク市の公共交通と自転車交通について、共立女子大学において講演があります。

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 21 回)

- 「まちが変われば、交通もかわる」

【岡山大学大学院環境学研究科教授 谷口守】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 21 回)

- 「福山都市圏交通円滑化総合計画におけるソフト主体施策の実現化」

【福山市建設局都市部都市交通課長 岡森正人】

3. ニュース／トピック

- EST推進地域・団体登録制度の開始について【EST普及推進委員会】
- 平成20年度「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」等の公募結果について【国土交通省】
- CNG車普及促進モデル事業の実施地域を募集【国土交通省】
- 低公害車の導入等に係る補助制度のご案内【国土交通省】
- 平成19年の燃費の良いガソリン乗用車ベスト10について【国土交通省】
- 交通流制御の高度化プロジェクトにおける警察庁との連携について【経済産業省、警察庁】
- 温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による平成18年度温室効果ガス排出量の集計結果の公表【環境省】
- 客待ちタクシー対策の社会実験を実施【仙台市】
- 東北大学・宮城教育大学 公共交通利用促進キャンペーンを実施【仙台市】
- 高齢者おでかけ支援バスの試行運行について【柏市】

- 首都圏初、「PASMO」を利用した乗車履歴連動のパーク&ライドサービス開始【パーク24、東武鉄道】
- カーシェアリング車両の鍵として『PASMO』の利用が可能に【オリックス自動車】
- 運輸交通分野でのカーボンオフセットの事例について【佐川急便、らでいっしゅぼーや、近畿日本ツーリスト、JR西日本】
- 安全・省燃費・運行管理をトータルサポートする運行管理システム「エコフリート PRO」を新発売【三菱ふそう】

#### 4. イベント情報

- ドイツ環境共生都市フライブルクのまちづくりと、自転車を利用した複合型サービス【2008/5/13】
- 第4回市民セミナー ディーゼル排ガスの健康影響【2008/5/17】
- エコカーワールド2008 in 神戸【2008/5/17,18】
- 日仏自動車環境産業セミナー【2008/5/19】
- 第16回環境自治体会議 ゆざ会議【2008/5/28-30】
- カーフリーデーアジア会議 in YOKOHAMA【2008/5/30】

#### 5. その他

- 記事募集中！

---

### 1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第21回)

- 「まちが変われば、交通もかわる」

【岡山大学大学院環境学研究科教授 谷口守】

ESTの普及を考えていくためには、交通機関のことばかり考えるのではなく、まちの側でESTをどのように受け止めていくかが大変重要になります。いくらESTだけががんばっても、人がそれに応じた「住み方」をしていなければ空回りになってしまうのです。ちなみに、都市の密度が高くなるだけでも、ESTの利用が高まる傾向があることが知られています。京都議定書では6%のCO2削減が目標とされましたが、我が国では平均人口密度が100(人/ha)の高密な都市は、一人当たりの自動車CO2発生量が50(人/ha)の密度の都市のおよそ半分になっています。まちをコンパクトな形に変えることは、交通を変えることに最も大きなインパクトがあるのです。

しかし、そのようなコンパクトなまちづくりは難しいと一般には思われているようです。昨年12月での岡山でのEST講演会の際、参加者の方々は当初「コンパクトなまちづくりの実現可能性」は、5段階評価で1.93程度(平均値)と感じておられました。しかし、様々な事例の解説を行った結果、講演後には同じ質問に対する回答値は3.98に上昇しています。できる

ことからやっていけばよいということに気づくことが、まず最初の一步といえます。あなたのまちでもきっとできることがあるのではないのでしょうか。

(参考:ありふれたまちかど図鑑、一住宅地から考えるコンパクトなまちづくりー、  
<http://gihodobooks.jp/book/1716-4.html>)

## 2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第21回)

### ●「福山都市圏交通円滑化総合計画におけるソフト主体施策の実現化」

【福山市建設局都市部都市交通課長 岡森正人】

福山都市圏のMMの取り組みは、地域の渋滞緩和、地球温暖化防止を目的にソフト施策の重点的推進を図っており、通年的なノーマイカー運動として「ベスト運動(Bingo Environmentally Sustainable Transport)」を主体施策として位置付け、その他、定着支援施策群との連携により、都市圏全体にMMの考え方を導入して取り組んでいます。

この「ベスト運動」は、持続可能な仕組みとするため、パソコン、携帯電話の情報通信機能を活用した会員登録制としており、個人属性別に環境に関連した興味のある話題を抽出し、参加報告依頼と併せて会員にメールする方法で、会員の参加意識を高め、交通行動変容状況を毎月モニタリングするとともに、モニタリング結果を効果速報値として情報提供するなどして、交通行動の変容を促進するコミュニケーションを図っています。

また、「ベスト運動」を支える支援施策として“人々の意識変化を促す”ための「小学校TFP」、「企業・居住地TFP」、「交通フォーラム」や、シームレスな移動の確保を目的に“参加しやすい環境づくり”として「中心部レンタサイクル」、「交通情報提供システム」などを段階的に取り組んでいます。

「ベスト運動」会員数は、11,000人(2007年度末)となり、一ヶ月平均約3割の方が行動変容を起こし、行動変容を起こした人の一ヶ月平均変容回数は約3回となっています。

今後は、会員数の拡大及び行動変容率の向上にむけ施策展開し、さらなる運動の拡大を目指します。

---

## 3. ニュース／トピック

### ●EST推進地域・団体登録制度の開始について【EST普及推進委員会】

EST普及推進委員会はこの度、「ESTを目指して、環境改善目標を伴った交通環境対策を推進すること」を誓う地方自治体を登録する制度を開始しました。ESTポータルサイトにおいて、この制度に登録された地域・団体を公表し、PRします。また、登録された地域・団体は、EST(環境的に持続可能な交通)マークが使用できるようになります。ESTを目指す地方自治体の皆様からの応募をお待ちしております。

<http://www.estfukyu.jp/estsuishinchiiki.html>

●平成20年度「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」等の公募結果について【国土交通省】

国土交通省では、地域公共交通の活性化・再生に主体的に取り組む地域を支援することを目的として、平成20年度に、『地域公共交通活性化・再生総合事業』を新設しました。本事業を活用するために必要な、「地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画」及び「地域公共交通活性化・再生総合事業計画」の第一次公募を行い、各運輸局にて認定いたしました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/01/010415\\_3\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/01/010415_3_.html)

●CNG車普及促進モデル事業の実施地域を募集【国土交通省】

国土交通省は、黒煙ゼロのまちづくり等を目指した環境先進地域において重点的かつ計画的にCNG車の普及を促進するための「CNG車普及促進モデル事業」の実施地域を募集します。「CNG車普及促進モデル事業」とは、CNG車の普及に適し、かつ、環境対策に関心の高い先進的な地域において、地方公共団体を中心とする関係者の協力の下、集中的かつ計画的なCNG車の導入及びCNG車導入に向けた環境整備を実施し、CNG車の普及の更なる促進を図るもので、平成17年度より実施しています。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/09/090331\\_3\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/09/090331_3_.html)

●低公害車の導入等に係る補助制度のご案内【国土交通省】

国土交通省は、平成19年度に引き続き、CNGバス・トラック等の導入に対する補助を実施するとともに、新たに、CNG車試行運行実験事業に対する補助を実施致します。実施にあたって、平成20年4月1日より、平成20年度における「低公害車普及促進対策費補助金交付要綱」を施行しました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/09/090331\\_2\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/09/090331_2_.html)

●平成19年の燃費の良いガソリン乗用車ベスト10について【国土交通省】

国土交通省は、自動車ユーザーの省エネルギーへの関心を高めるとともに、燃費性能の優れた自動車の開発・普及を促進するため、平成19年の燃費の良いガソリン乗用車ベスト10を公表するとともに、自動車（型式認証を受けた自動車に限る）の燃費性能を整理した冊子「自動車燃費一覧」を作成しました。

[http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/09/090328\\_2\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/09/090328_2_.html)

●交通流制御の高度化プロジェクトにおける警察庁との連携について【経済産業省、警察庁】

経済産業省と警察庁は、自動車自らがセンサーになって取得した情報（プローブ情報）を活用する交通流制御高度化技術を開発するため、平成20年度から開始される、独立行

政法人 新エネルギー産業技術総合開発機構(NEDO)の新規プロジェクトの実施に際して、連携して取り組むこととしました。今後、協力してプロジェクトを推進し五年後の実用化を目指します。

<http://www.meti.go.jp/press/20080409004/20080409004.html>

●温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による平成 18 年度温室効果ガス排出量の集計結果の公表【環境省】

環境省のホームページにおいて、温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による平成 18 年度温室効果ガス排出量の集計結果が公表されました。交通関係では特定貨物輸送事業者・特定旅客輸送事業者・特定航空輸送事業者・特定荷主が含まれます。特に貨物輸送は運輸事業者が、自ら排出しているというよりも、荷主の求めに応じて輸送することに起因する排出であるため、荷主別データは評価データとして重要と考えられます。

<http://www.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/kouhyo/index.html>

●客待ちタクシー対策の社会実験を実施【仙台市】

仙台市では、深夜の国分町地区における、客待ちタクシーの違法駐停車に起因する道路混雑や通行の安全性低下の改善を図ることを目的として、(社)宮城県タクシー協会仙台地区総支部が中心となり、官民挙げて、客待ちタクシー対策の社会実験を実施します。実験期間中に評価検証を行い、協議会として課題等の解消に努め、6月から本格実施に移行する予定です。

<http://www.city.sendai.jp/soumu/kouhou/houdou/08/0418tak.html>

●東北大学・宮城教育大学 公共交通利用促進キャンペーンを実施【仙台市】

学都仙台広域交通計画等協議会の公共交通利用促進ワーキングが主体となって、東北大学理学部・工学部、宮城教育大学の新生生に対して、公共交通(バス)の利用を促進させるため、公共交通利用促進キャンペーンを実施しました。主に携帯電話によって、利用するバス停留所のバスの接近情報や時刻表の検索ができる、「どこバス仙台(バスロケーションシステム)」の使い方などについて、パネル展示やパンフレットを用いて説明し、また、バスの乗り方、定期・バスカードの購入方法のパネル展示と説明のほか、時刻表などの配布、バスカードの販売も行いました。

<http://www.city.sendai.jp/toshi/koutsukikaku/riyou/daigakusei20.html>

●高齢者おでかけ支援バスの試行運行について【柏市】

柏市では、5月20日から1年間、自動車教習所の送迎バスの空席を活用して高齢者の外出を支援する「高齢者おでかけ支援事業」の試行運行を始めます。なお、試行期間終了後の継続については、試行の結果を見ながら関係者と協議の上、決定します。この事業は「移動しやすい柏市」の実現に向けて、市内にある3つの自動車教習所(西柏自動車教

習所、柏自動車教習所、柏南自動車教習所)の協力により、教習生のために運行している送迎バスに生じた空席を活用して、高齢者の外出を支援するものです。

[http://www.city.kashiwa.lg.jp/notice/odekake/odekake\\_top.htm](http://www.city.kashiwa.lg.jp/notice/odekake/odekake_top.htm)

●首都圏初、「PASMO」を利用した乗車履歴連動のパーク&ライドサービス開始【パーク24、東武鉄道】

時間貸駐車場「タイムズ」を運営するパーク24株式会社と、東武鉄道株式会社は、4月20日より、交通ICカード「PASMO」を活用して「タイムズ」で割引ができる乗車履歴連動のパーク&ライドサービスを開始します。これにより、パーク&ライドの普及を促進し、東京中心市街地の渋滞緩和やCO2の排出量削減による環境改善につなげていく予定です。

<http://www.tobu.co.jp/file/1588/080328-2.pdf>

●カーシェアリング車両の鍵として『PASMO』の利用が可能に【オリックス自動車】

今月からオリックス自動車のカーシェアリング車両の鍵として交通ICカード『PASMO』の利用が可能となりました。同社では、首都圏での利用者の利便性の向上を図るとともに、「長距離間は鉄道で移動し、目的地付近でカーシェアリング車両を利用する」という欧米式の利用方法を確立する第一歩と捉えており、環境改善に繋がることを期待しています。

[http://www.orix.co.jp/auto/press/release/release\\_080328.pdf](http://www.orix.co.jp/auto/press/release/release_080328.pdf)

●運輸交通分野でのカーボンオフセットの事例について【佐川急便、らでいっしゅぼーや、近畿日本ツーリスト、JR西日本】

カーボンオフセットの事例が国内に増えてきているなかで、運輸交通分野においても取り組みが開始されました。具体的には、物流に関して佐川急便やらでいっしゅぼーやが取り組みをはじめるとともに、旅行に関して近畿日本ツーリストも取り組みをはじめています。さらに、JR西日本では、クレジットカードやIC乗車券で貯まったポイントの交換特典として、カーボンオフセットをおこなうことが可能です。

<http://www.sg-hldgs.co.jp/news/2008/news20080226.html>

<http://www.radishbo-ya.co.jp/company/press/08022501.html>

<http://www.knt.co.jp/kouhou/news/08/no021.html>

[http://www.westjr.co.jp/news/newslist/article/1173569\\_799.html](http://www.westjr.co.jp/news/newslist/article/1173569_799.html)

●安全・省燃費・運行管理をトータルサポートする運行管理システム「エコフリートPRO」を新発売【三菱ふそう】

三菱ふそうトラック・バス株式会社は、顧客の「安全運転の促進」「省エネ運転の実現」「運行管理業務の効率化」をサポートする運行管理システム「エコフリート」に、国土交通省認定運行記録計(デジタルタコグラフ)を内蔵した「エコフリートPRO」を4月8日から発売します。

#### 4. イベント情報

- ドイツ環境共生都市フライブルクのまちづくりと、自転車を利用した複合型サービス  
日時:2008年5月13日(火)17:00~19:00  
場所:共立女子大学本館B101(千代田区一ツ橋2-2-1)地下鉄神保町、竹橋  
主催:共立女子大学、コミュニティバイク研究会  
概要:①『ドイツ・フライブルク市の駐輪場を活用した「複合型交通サービス」について』(マルティン=マティアス・リュプケ、独日通訳付) ②『フライブルク市の公共交通と自転車交通について』(村上敦)  
連絡先:共立女子大学デザイン研究室 助手中根  
hnakane@s1.kyoritsu-wu.ac.jp (お名前、ご所属を通知して下さい。参加無料)
  
- 第4回市民セミナー ディーゼル排ガスの健康影響  
日時:2008年5月17日(土) 13:00~15:30  
場所:全国地球温暖化防止活動推進センター2階  
主催:酸性雨調査研究会  
<http://www.k5.dion.ne.jp/~jarn/pdf/Takeda080517.pdf>
  
- エコカーワールド2008 in 神戸  
日時:2008年5月17日(土) 12:00~17:00、18日(日) 10:00~16:00  
場所:メリケンパーク  
主催:エコカーワールド2008 in 神戸実行委員会(環境省、独立行政法人環境再生保全機構、神戸市)  
<http://www.erca.go.jp/ecocarworld/koube/>
  
- 日仏自動車環境産業セミナー  
日時:2008年5月19日(月) 14:00~19:00  
場所:パンフィコ横浜会議棟  
主催:神奈川県  
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sangyo/nitihutu/index.html>
  
- 第16回環境自治体会議 ゆざ会議  
日時:2008年5月28日(水)~30日(金)  
場所:遊佐町 遊佐町中央公民館・鳥海自然文化館遊楽里 ほか  
主催:第16回環境自治体会議ゆざ会議実行委員会、遊佐町、環境自治体会議

<http://kankolog.jp/shonai/event/p0514.html>

●カーフリーデーアジア会議 in YOKOHAMA

日時:2008年5月30日(金)10:00~16:30

場所:横浜市開港記念会館(予定)

主催:カーフリーデージャパン

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/e/e8ccc43b5421d395f373f00ba0f36aa3>

---

## 5. その他

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:[EST@ecom.o.or.jp](mailto:EST@ecom.o.or.jp)(担当:市丸)

---

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[http://www.estfukyu.jp/mailmagazine\\_cancel\\_form.html](http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html)

ESTポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>